

## ★県北地域の感染症発生状況（12/10～12/16 福島県感染症動向調査より）

・水痘、RSウイルス感染症の流行、インフルエンザ、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、手足口病の小流行が見られます。

県南地域では、前週、風しん1例が報告されました。今年9月以降9例目の報告です。

## 今月のトピックス

### ★冬は「ノロウイルス」による感染性胃腸炎や食中毒の流行時期です！

「ノロウイルス」による感染性胃腸炎や食中毒は一年中発生しますが、特に12月～3月の冬季に流行します。

ノロウイルスは、手指や食品を介して、主に経口感染し、ヒトの腸管で増殖し、嘔吐、下痢、腹痛などを起こします。健康な方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄りなどでは、吐物を誤って気道に詰まらせ死亡することもあります。

感染しても症状が出ない「不顕性感染」の場合や軽い風邪のような症状のみの場合、また、症状が治った後（1週間～1ヶ月程度）は、気づかぬうちにノロウイルスを排泄し、感染源となる場合があるので注意が必要です。



## ノロウイルスによる胃腸炎・食中毒の予防には？

※詳細は、「ノロウイルスに関するQ&A 厚生労働省」を検索してください。

- 患者のふん便や吐物には大量のウイルスが排出されます。
  - ・食事の前やトイレの後、調理の前などには必ず手を洗いましょう。
  - ・下痢や嘔吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしないようにしましょう。
  - ・胃腸炎患者に接する方は、患者のふん便や吐物を適切に処理し、感染を拡げないようにしましょう。
- 特に、子どもやお年寄りなど抵抗力の弱い方は、加熱が必要な食品は中心部までしっかり加熱して食べましょう。また、調理器具等は使用後に洗浄殺菌しましょう。

ノロウイルス対策には“手洗い”が一番！！

ノロウイルスにはアルコール消毒では効果が弱いんだって！



## 「百日咳」にご注意ください！

12月1日～25日まで、県北保健所における「百日咳」発生届出受理件数は、21件にのぼっております。（内訳：乳幼児2件、小学生17件、中学生1件、成人は1件）。

百日咳は、非常に感染力が強く、免疫がない人が感染すると80%以上が発病すると言われています。感染経路は、飛沫感染（咳やくしゃみのしぶきから感染）と接触感染です。**感染拡大防止のため、咳が出る場合は①マスクの着用②こまめな手洗い③早めの受診。を心がけましょう！**

※百日咳の詳細は8月9日発行の臨時号をご覧ください。当所ホームページに掲載中です。



発行日 平成30年12月25日  
発行元 福島県県北保健所  
医療薬事課  
住所 〒960-8012  
福島市御山町8-30  
電話 024-534-4113  
ホームページ  
検索キーワード

福島県県北保健所